



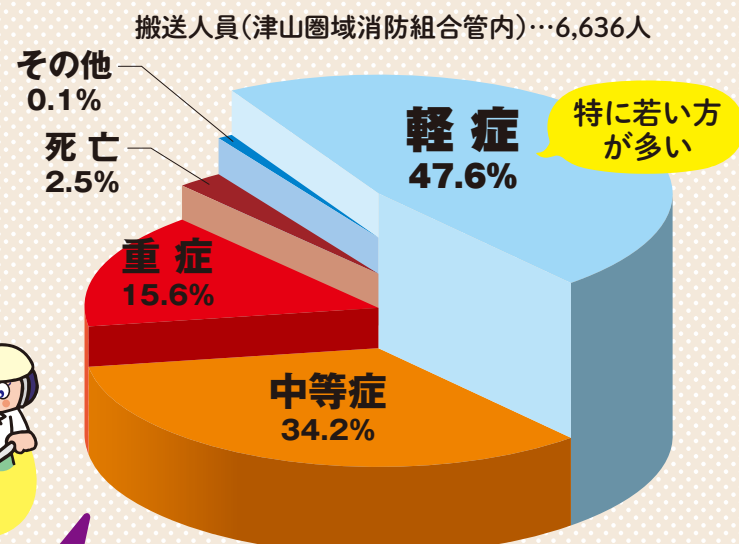
救急車の利用について

その救急車は本当に必要？

救急車は、生命の危機を伴うけが人や急病者の方々を、一刻も早く医療機関に運ぶための緊急車両です。しかし、軽症の患者さんの利用も少なくないため、救急車を本来に必要としている患者さんへの影響も心配されています。救急車の本来の役割をよく考えて、安易な利用はやめましょう。



救急車による傷病程度別搬送人員（平成24年）



救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症患者です！



- 蚊に刺されてかゆい。
- 紙で指先を切った。
- 病院でもらった薬がなくなった。
- 海水浴に行って、日焼けした足がひりひりする。
- 今日入院予定日だから、病院に行きたい。
- ヘルパーを呼んだが来てくれなかったため、その代わりに。
- 病院で長く待つのが面倒なので、救急車を呼んだ。

本当に救急車が必要な患者さんのためにも、皆様の協力が不可欠です。

救急車を利用するときは

- ① 119番通報し、「救急です」とはっきり言う。
- ② 場所と名前、電話番号を伝え、現場の目標物などを指示する。
- ③ 今の状態など、通信指令室の質問に落ちついて答える。

口頭指導が受けられます

呼吸がないなど緊急を要する場合、一刻も早い処置が必要となります。119番通報から救急隊が到着するまでの間、必要な処置について指導を受けることができます。



救急車は緊急のための車両です。緊急走行中はサイレンを止めることはできません



気をつけて!!
小児（15歳未満）

こんなときには
ためらわず
救急車を呼んでください!

顔

・くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い。

胸

・激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔が悪い。

頭

・頭を痛がって、けいれんがある。
・頭を強くぶつけて、出血が止まらない、意識がない、けいれんがある。

おなか

・激しい下痢や嘔吐で水分が摂れず、食欲がなく意識がはっきりしない。
・激しいおなかの痛みで苦しい、嘔吐が止まらない。
・ウンチに血がまじっている。

手足

・手足が硬直している。

意識の障害

・意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）。



その他、いつもと違う場合や様子がおかしい場合。

飲み込み

・変なものを飲み込んで、意識が戻らない。

けいれん

・けいれんが止まらない。
・けいれんが止まっても、意識が戻らない。

じんましん

・虫に刺されて、全身にじんましんが出て顔が悪くなった。

事故

・交通事故にあった（強い衝撃を受けた）。
・水におぼれている。
・高所からの転落。

やけど

・痛みのひどいやけど。
・広範囲のやけど。

生まれて3ヶ月未満の乳児

・乳児の様子がおかしい。

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性もあります。



子どもが急病のときには…

小児救急夜間電話相談 をご利用ください。

子どもが夜間に急病になった場合などに、当番小児科医または看護師などが電話相談に応じます。



小児救急夜間電話相談用電話番号 ※携帯電話からでもご利用いただけます。

#8000 または、**☎086-272-9939**

◎平日（月～金）／19時～23時 ◎休日（土・日・祝・年末年始）／18時～23時

※相談受付時間は、平成26年度中に拡充する予定となっています。

「子どもの救急」ホームページ (<http://www.kodomo-qq.jp>) も参考にしてみてください。夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供されています。



～ 安心できる医療体制を守るために ～

救急医療を
適正に
利用しましょう

津山市では、医師会や圏域消防組合などの協力により、夜間や休日などの診療時間外でも安心して治療を受けられるように救急医療体制を整えています。

1人1人が、急病時などの適切な対処方法や受診の仕方を知ること、いざという時に役立つばかりでなく、医療従事者等の負担を軽減し、地域医療を守ることに繋がります。

日頃から、かかりつけの医師を決め、体調が悪い時には、早めに診療体制が整っている通常の時間内に受診するように心がけましょう。

救急医療体制は市民のみなさんの貴重な財産です。大切な救急医療を守るためにみなさんのご理解とご協力をお願いします。



救急医療機関を受診する場合のお願い

ふだんから心がけましょう

- ① ふだんから、何でも相談できる「かかりつけ医」を持ち、早めの受診を心がけましょう。
- ② 病気やケガに備えて、薬を常備しましょう。
- ③ 病気を早期に発見するため、定期的に健康診断を受けましょう。

できるだけ通常の診療時間内に受診しましょう

- 夜間や休日は、限られた医療スタッフで運営されていますので、必ずしも専門医がいるとは限りません。（平日昼間など通常の診療時間内のほうが、検査などを含めた診療体制が整っています）
- 「夜間すいているから」「昼間は仕事があるから」などの理由で利用すると、夜間や休日の救急外来が混雑し、本当に治療が必要な患者さんへの対応が十分でなくなる恐れがあります。
- 受診する際は、通常の診療時間内に受診することができないか、もう一度考えてみましょう。





1 いちば医院	二宮1900-5	☎28-8300	内科系
2 井戸内科クリニック	山下101	☎22-2101	内科系
3 薄元医院	山北435-8	☎22-2465	内科系
4 江原内科放射線科医院	昭和町1-10	☎22-3825	内科系
5 おおうみクリニック	河辺934-1	☎21-0033	内科系
6 大桑医院	川崎1136	☎26-1349	内科系
7 河原内科・松尾小児科クリニック	二宮2137-10	☎28-5570	内科系(小児科)
8 かねだ小児科医院	勝間田町48-1	☎24-1222	内科系(小児科)
9 衣笠内科医院	椿高下39	☎22-7811	内科系
10 多胡クリニック	草加部955-1	☎29-7111	内科系
11 辻医院	小原27-1	☎23-2567	内科系(小児科)

12 津山第一病院	中島438	☎28-2211	外科系
13 津山中央病院	川崎1756	☎21-8111	内科系・外科系
14 中尾内科クリニック	沼854-6	☎24-4488	内科系
15 中島病院	田町122	☎22-8251	内科系
16 中西クリニック	東一宮43-13	☎27-7200	内科系
17 西村医院	二宮57-1	☎28-2100	内科系
18 林小児科	山下37	☎22-1256	内科系(小児科)
19 平福診療所	平福546-1	☎28-3858	内科系
20 本渡記念循環器科クリニック	小原79-5	☎22-8715	内科系
21 またの内科循環器科クリニック	新職人町18	☎22-4758	内科系
22 神谷内科医院	南新座109	☎25-2177	内科系

23 三村医院	北園町35-5	☎23-5225	内科系
24 安田医院	上河原215-7	☎23-5537	内科系
25 弓狩小児科医院	南新座23-1	☎24-2035	内科系(小児科)
26 只友医院	加茂町塔中105	☎42-2043	内科系
27 平井医院	加茂町中原61	☎42-3131	内科系
28 万袋医院	加茂町中原32	☎42-3025	内科系
29 影山医院	上村62-1	☎29-1511	内科系
30 勝北診療所	杉宮14-2	☎29-2324	内科系
31 勝北すこやかクリニック	坂上221-1	☎29-7701	内科系
32 日本原病院	日本原352	☎36-3311	内科系
33 本位田診療所	新野東1797-12	☎36-5613	内科系

◎休日・夜間の救急医療は、上記の医療機関のご協力をいただいております。(平成26年1月現在) ◎当番については、新聞・消防本部等で確認のうえ、あらかじめ医療機関に連絡してから受診してください。

